



SUMMIT
ONLINE

LOCATION | MAY 13, 2021

AWS-64

初学者向け **AWS** 学習パス ～まずはクラウドプラクティショナー認定資格から～

西村 航

テクニカルトレーナー / マネージャー

トレーニングサービス本部

アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社



自己紹介

名前： 西村 航 (にしむら わたる)

職種： テクニカルトレーナー / マネージャー

前職： SIer

好きな AWS サービス： Amazon VPC

趣味： 銭湯



目次

1. 学習の必要性
2. 学習の方法
3. 認定資格
4. まとめ



1. 学習の必要性

理由1. IT人材の不足

2030年にはIT人材が **XX 万人** 不足すると試算されている。(*1)

(*1) 「平成31年4月 IT人材需供に関する調査(概要)」 経済産業省 情報技術利用促進課 より > [URL](#)

理由1. IT人材の不足

2030年にはIT人材が **45万人** 不足すると試算されている。(*1)

(表1) IT人材の需給ギャップ

2018年	2020年	2025年	2030年	2030年(前回調査※)
22万人	30万人	36万人	45万人	59万人

※前回調査：2016年「IT人材の最新動向と将来推計に関する調査結果」(経済産業省)における需要の伸び1.5-2.5%シナリオの需給ギャップを記載。

(*1) 「平成31年4月 IT人材需供に関する調査(概要)」 経済産業省 情報技術利用促進課 より > [URL](#)

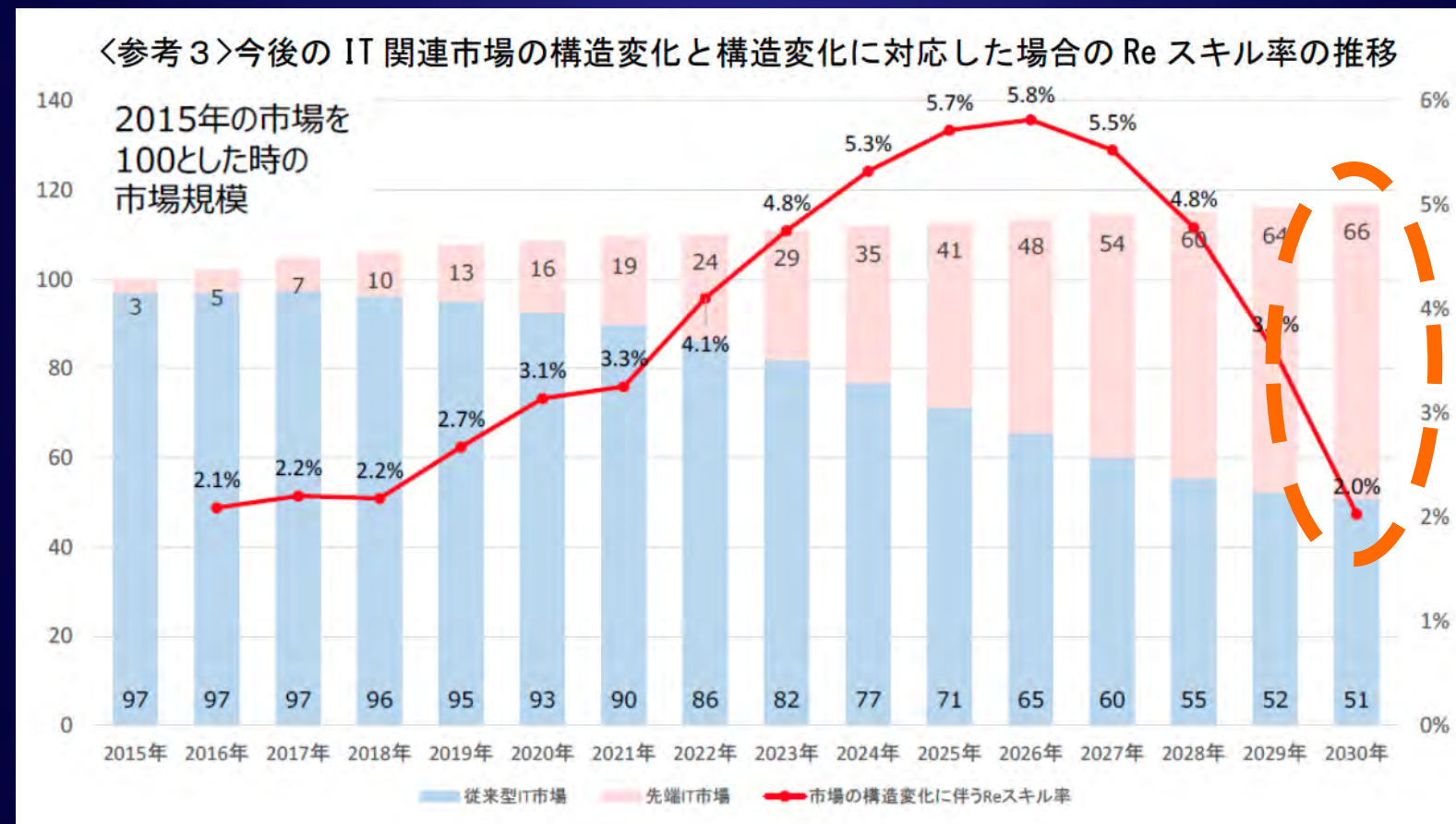
理由2. 求められる最先端技術のキャッチアップ

2030年に IoT / AI などの最先端技術を活用した IT 市場が全体の **XX %** に。(*1)

(*1) 「平成31年4月 IT人材需供に関する調査(概要)」 経済産業省 情報技術利用促進課 より > [URL](#)

理由2. 求められる最先端技術のキャッチアップ

2030年に IoT / AI などの最先端技術を活用した IT 市場が全体の **56%** に。(*1)



(*1) 「平成31年4月 IT人材需供に関する調査(概要)」 経済産業省 情報技術利用促進課 より > [URL](#)

理由3. AWS の新サービス/新機能の数

AWS では **XX** を超えるサービスを提供しており、

2020 年には **XX** 回のリリースを実施しました。

AWS が提供する **XX %** 以上の機能は全世界で数百万、日本の数十万のお客様からのリクエストをもとに実装されています。 (*2)

(*2) AWS が選ばれる10の理由 | 理由5.最先端の技術をいつでも利用可能 > [URL](#)

理由3. AWS の新サービス/新機能の数

AWS では **200** を超えるサービスを提供しており、

2020 年には **2,757** 回のリリースを実施しました。

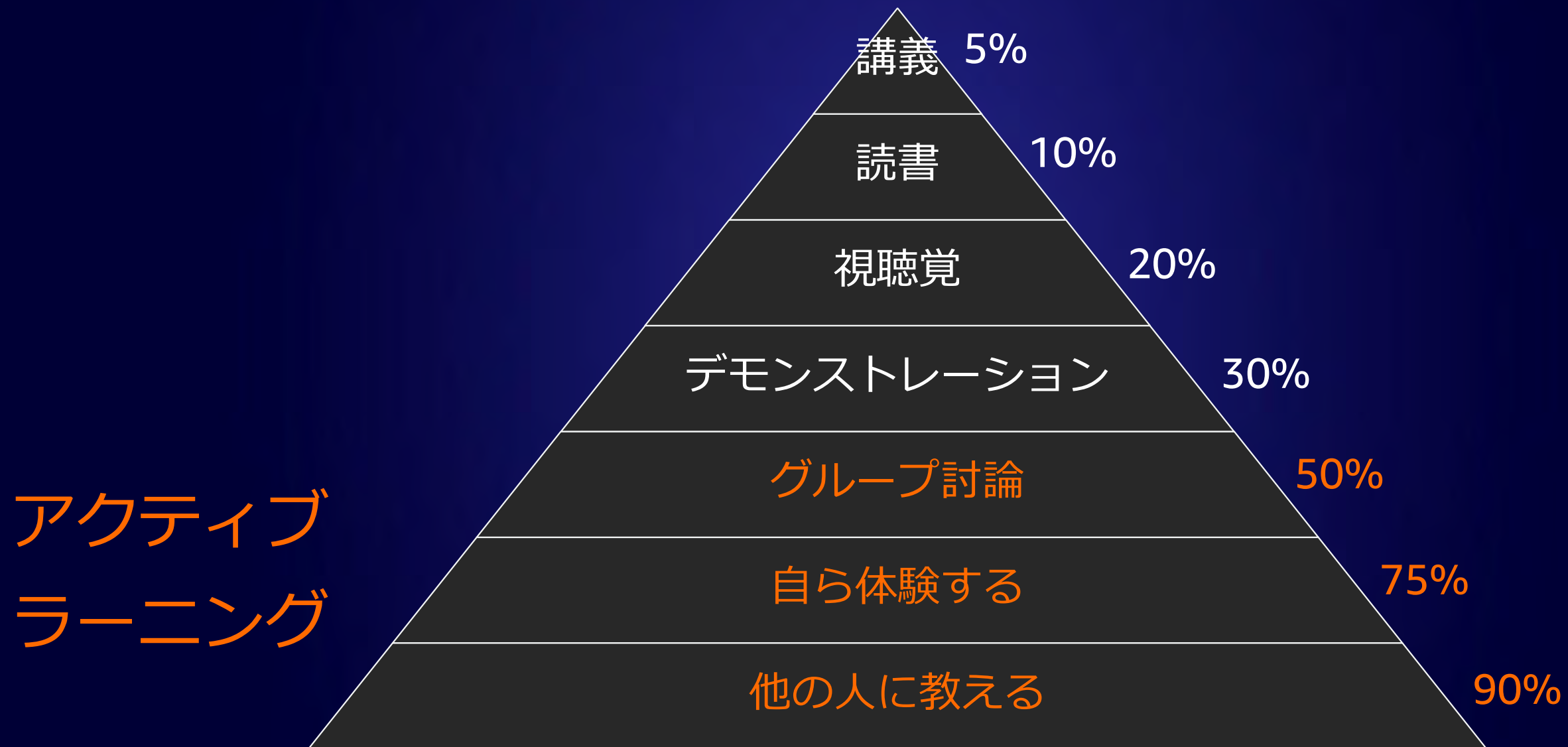
AWS が提供する **90 %** 以上の機能は全世界で数百万、日本の数十万のお客様からのリクエストをもとに実装されています。 (*2)

(*2) AWS が選ばれる10の理由 | 理由5.最先端の技術をいつでも利用可能 > [URL](#)



2. 学習の方法

(参考) ラーニングピラミッド



学習の 5 ステップ

ステップ1：まず最初に何をすべき？

ステップ2：AWSサービスの全体像を掴むには？

ステップ3：AWSの各サービスに詳しくなるには？

ステップ4：最新情報をキャッチアップするには？

ステップ5：さらに知識を深めるには？

ステップ1：まず最初に何をすべき？

AWSが選択される理由や活用方法・効果を事例ベースで学びましょう。

AWS のクラウドが選ばれる 10 の理由

Amazon Web Services (AWS) は Global で数百万以上、日本でも 10 万を超えるお客様にご利用いただいています。

お客様がなぜ AWS を選択されているのか、10 の理由とともにご紹介します。

① AWS が選ばれる10の理由： Why AWS ? が凝縮したリンク
<https://aws.amazon.com/jp/aws-ten-reasons/>

日本国内のお客様の導入事例

AWS クラウドをご利用いただいている日本国内のお客様の導入事例をご紹介します。多種多様な業種や企業規模のお客様がどのようにクラウドを活用しているのか、また、AWS クラウドによってお客様のビジネスにどのような効果をもたらされたのかをご紹介します。

② AWS 日本国内のお客様の導入事例： 活用方法・効果を事例で把握
<https://aws.amazon.com/jp/solutions/case-studies-jp/>



③ AWS マンガ： AWS で何が出来るのか？をストーリー形式で学ぶ
<https://aws.amazon.com/jp/campaigns/manga/series/>

aws SUMMIT
TOKYO/OSAKA

セッション資料・動画一覧

④ AWS Summit 資料： 最新の事例・情報を閲覧可
[2013](#) / [2014](#) / [2015](#) / [2016](#) / [2017](#) / [2018](#) / [2019](#) / [2020](#)

AWS が選ばれる 10 の理由

お客様がなぜ AWS を選択されているのか、10 の理由とともにご紹介。

The screenshot shows the AWS landing page for '10 Reasons'. At the top, the title 'AWS のクラウドが選ばれる 10 の理由' is displayed. Below it, a paragraph states that AWS is used by millions of customers globally and tens of thousands in Japan. A second paragraph asks why customers choose AWS and lists 10 reasons. Three main action buttons are present: 'PDF カタログをダウンロード' (white), 'AWS を今すぐ無料で始める' (orange), and '日本担当チームへのお問い合わせ' (white). Below these buttons is a link for 'AWS アカウント作成の流れ'. At the bottom, a list of 10 reasons is provided in two rows.

AWS のクラウドが選ばれる 10 の理由

Amazon Web Services (AWS) は Global で数百万以上、日本でも 数十万を超えるお客様にご利用いただいています。

お客様がなぜ AWS を選択されているのか、10 の理由とともにご紹介します。

[PDF カタログをダウンロード »](#) [AWS を今すぐ無料で始める »](#) [日本担当チームへのお問い合わせ »](#)

[AWS アカウント作成の流れ »](#)

1. 初期費用ゼロ/低価格
2. 継続的な値下げ
3. サイジングからの解放
4. ビジネス機会を逃さない俊敏性
5. 最先端技術をいつでも利用可能
6. いつでも即時にグローバル展開
7. 開発速度の向上と属人性の排除
8. 運用負荷軽減と生産性の向上
9. 高いセキュリティを確保
10. 日本語での 24 時間サポート

<https://aws.amazon.com/jp/aws-ten-reasons/>

ステップ2：AWSサービスの全体像を掴むには？

AWS が提供するイベント、デジタルトレーニングを受講しましょう。



① AWSome Day：AWS の基礎知識を学ぶイベント

<https://aws.amazon.com/jp/about-aws/events/awssomeday/>



② AWS Cloud Practitioner Essentials (Japanese)：AWS 初学者向けのデジタルトレーニング

<https://www.aws.training/account/logonoptions?returnUrl=%2flearningobject%2fwbc%3fid%3d66479>

AWS Cloud Practitioner Essentials (Japanese)

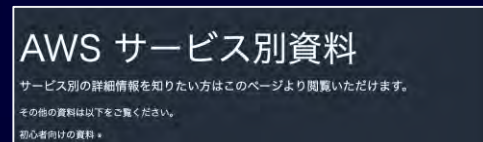
基礎レベルのコースで、特定の技術担当者に限らず、
AWS クラウドを全体的に理解したい方を対象としています。

The screenshot shows the AWS Training and Certification website. The header includes the AWS logo, 'training and certification', and navigation links for 'トレーニングライブラリ', '認定', 'サポート', and 'パートナー向けトレーニング'. A search bar contains 'トレーニングを検索', and there are links for '日本語' and 'サインイン'. The main content area features a green background with the text 'AWS Cloud Practitioner Essentials (Japanese) (日本語字幕版)'. A '無料コース' (Free Course) badge is present, along with a 'サインイン >' button. At the bottom, it indicates 'FUNDAMENTAL', '6 時間', and 'JAPANESE'.

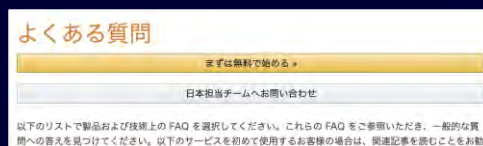
<https://www.aws.training/account/logonoptions?returnUrl=%2flearningobject%2fwbc%3fid%3d66479>

ステップ3: AWSの各サービスに詳しくなるには?

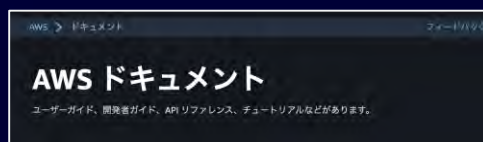
各AWSサービスを深掘りした資料に目を通しましょう。



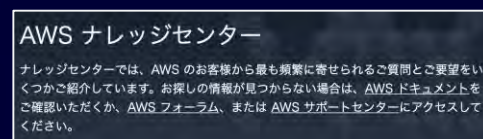
① AWS サービス別資料：サービスの要点をギュッと凝縮
<https://aws.amazon.com/jp/aws-jp-introduction/aws-jp-webinar-service-cut/>



② よくある質問：サービスに関する製品および技術上のFAQ集
<https://aws.amazon.com/jp/faqs/>



③ AWS ドキュメント：より詳細にサービスの仕様を理解する
<https://docs.aws.amazon.com/index.html>



④ ナレッジセンター：サービス実装時につまずいたらアクセス
<https://aws.amazon.com/jp/premiumsupport/knowledge-center/>

AWS サービス別資料

サービスの詳細を ギュッ! と凝縮した資料を SlideShare / PDF / YouTubeで。

AWS サービス別資料

サービス別の詳細情報を知りたい方はこのページより閲覧いただけます。

[AWS オンラインセミナースケジュール](#) »

The screenshot shows a SlideShare page for an AWS Black Belt Online Seminar. The main slide is titled "[AWS Black Belt Online Seminar] Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)". It features the AWS logo and a QR code for registration. The page also includes a search bar, navigation buttons, and a list of recommended content on the right side.

The screenshot shows a PDF document titled "Amazon EC2とは". It contains a diagram illustrating the EC2 architecture. At the top, "EC2インスタンス" (EC2 Instance) is shown with three boxes labeled "Guest 1", "Guest 2", and "Guest n". These are connected to a "Hypervisor" layer, which sits on top of a "Host Server" layer. Below the diagram, there are three bullet points in Japanese describing EC2 features: multi-tenancy, server management flexibility, and administrative access. At the bottom, a red text box states "EC2はElastic Compute Cloudの頭文字" (EC2 is the acronym for Elastic Compute Cloud).

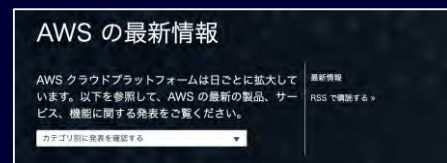
The screenshot shows a YouTube video titled "EC2のストレージ" (EC2 Storage). The video content includes a diagram of EC2 storage options and a list of two main storage services: Amazon EC2 Instance Store and Amazon Elastic Block Store (EBS). The Instance Store diagram shows "EC2 instances" connected to "Instance Store" (SSD or HDD) on a "Physical Host Machine". The EBS diagram shows "EC2 instances" connected to "EBS volumes" (gp2, io1, st1, sc1) and "EBS Snapshot" on "Amazon S3". The text lists characteristics for both services, such as performance, capacity, and cost.

<https://aws.amazon.com/jp/aws-jp-introduction/aws-jp-webinar-service-cut/>

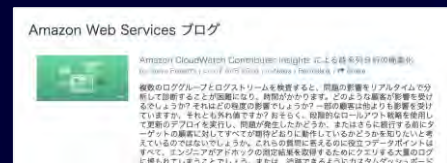


ステップ4：最新情報をキャッチアップするには？

RSS 登録、SNS フォロー で効率よく最新情報を収集しましょう。



① AWS の最新情報：最新のアップデートは真っ先にココでチェック。
<https://aws.amazon.com/jp/new/>



② AWS Japan Blog：AWS 関連の様々な情報を掲載。
<https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/>



③ builders.flash：様々なレベルの開発者向けのWebマガジン。
<https://aws.amazon.com/jp/builders-flash/>

④ SNS：最新のイベント情報も掲載。
[Twitter](#) / [Facebook](#) / [YouTube](#)

AWS Japan Blog

AWS 関連の様々な情報を掲載。 “週刊 AWS ” は要チェック！RSS 登録可。

Amazon Web Services ブログ



週刊AWS – 2020/1/20週

by AWS Japan Staff | on 27 JAN 2020 | in General | Permalink | [Share](#)

みなさん、こんにちは。ソリューションアーキテクトの下佐粉です。今週も週刊AWSをお届けします。2020年が始まったと思ったらもう1月が終わってしまいますね。寒い日が続きますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。以前にもお伝えしましたように今年のAWS Summit Tokyoは例年より少し早めの開催です。5/13～の東京、および6/30の大阪両方において、受け付け開始になった事を知らせるメール登録がこちらのページで可能になっていますので、参加予定の方はぜひ登録をしておいていただければと思います。また、今年も引き続きオンラインセミナーの方に力を入れていきます。こちらのページに今後の予定が掲載されています。私は久しぶりに2/4(火)12時から「Amazon QuickSight アップデート」をしゃべる予定です。そのほかにも色々なオンラインセミナーを企画していますので、よろしければご参加ください。それでは、先週の主なアップデートについて振り返っていきましょう。

[Read More](#)



【開催報告】 デジタルネイティブビジネス企業様向け re:Invent キャッチアップイベント

by AWS Japan Staff | on 27 JAN 2020 | in General | Permalink | [Share](#)

開催概要 2020年1月23日 AWS 目黒オフィスにて、デジタルネイティブビジネスを展開されるお客さま向けに、12月上旬の AWS re:Invent 2019 の内容についての振り返りとして、サービスアップデート、およびピックアップセッションの共有を行いました。資料はこちらです。AWS re:Invent 2019 recap For Digital Native Business from Amazon Web Services Japan 足元も悪い中50名以上ものお客様にお集まりいただき、みなさま非常に集中力高く受講いただき、終了後のQAも非常に活発に行われました。なお今回はAWS 目黒オフィスに新設されたイベントブースにて開催したのですが、ProfessionalなPAチームによるサポートにより、素晴らしい環境でイベントをご提供することができました。サービスアップデート まずは、Solutions Architect 石本・金杉より、re:Invent会期前・会期中に発表されたアップデートについて共有させていただきます。今年は総数 275 以上、非常に多くのアップデートが発表され、1時間

<https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/>

ステップ5：さらに知識を深めるには？

他の人と話す・自ら手を動かすことで、知識と実践を結びつけて理解出来ます。



① AWS クラブルームトレーニング：認定インストラクターによる研修
<https://aws.amazon.com/jp/training/course-descriptions/>

AWS ハンズオン資料

AWS をステップバイステップでお試しいただくのに役立つ動画
および資料を掲載しています。
その他の資料は以下をご覧ください。

② AWS ハンズオン：ステップ毎に動画学習しつつハンズオン。
<https://aws.amazon.com/jp/aws-jp-introduction/aws-jp-webinar-hands-on/>

セルフペースラボ

AWS の各サービスや実際のクラウドシナリオを使用して、AWS が実際に稼働している環境で実践演習を行います。サービスについて順番を辿って学習すること、ユースケースを演習すること、AWS 認定の準備をすることができます。

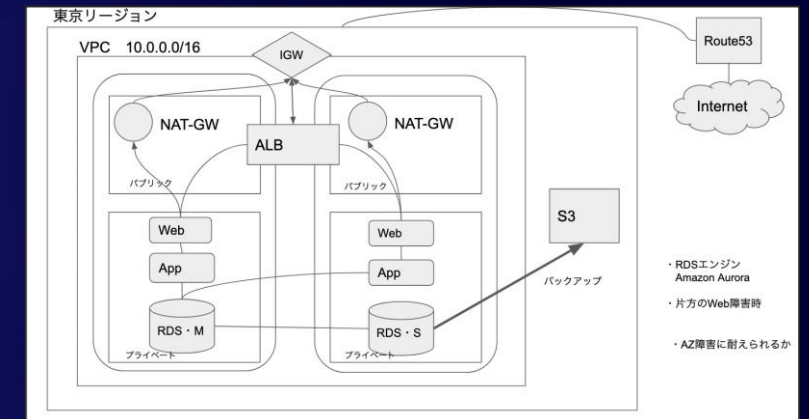
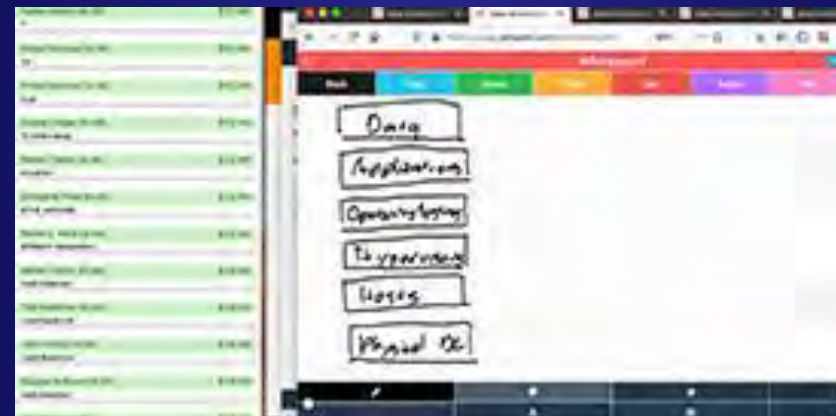
③ セルフペースラボ：用意された環境で AWS を使う実践演習を提供。
<https://aws.amazon.com/jp/training/self-paced-labs/>

ご使用の AWS で必要な実践的チュートリアルをご覧ください
最初のアプリケーションをステップバイステップで立ち上げられる、チュートリアルをご用意しています。

④ 実践的チュートリアル：自分の環境で AWS を実際に使ってみる。
<https://aws.amazon.com/jp/getting-started/tutorials/>

AWS クラスルームトレーニング

AWS 認定インストラクターによる、
座学、ハンズオン、グループ討論等で構成された集合研修。
※2020年春からオンラインにて実施。



Architecting on AWS コース

<https://aws.amazon.com/jp/training/course-descriptions/>

AWS ハンズオン

動画で学習しつつ、用意されたシナリオ/手順に沿ってハンズオンが可能。

AWS ハンズオン資料

AWS をステップバイステップでお試しいただくのに役立つ動画および資料を掲載しています。

その他の資料は以下をご覧ください。

[AWS オンラインセミナースケジュール »](#)

[AWS クラウドサービス活用資料集トップ »](#)



サンプルビデオ

本コースで構築するアーキテクチャとハンズオン
全体の流れの紹介

AWS Hands-on for Beginners ～スケーラブルウェブサイト構築編～

AWS Hands-on for Beginners ～スケーラブルウェブサイト構築編～は、WordPressを使ったブログサイトの構築を通じて、スケーラブルな Web システム構築を学んでいただけるウェビナーシリーズです。主に取り扱う AWS サービスは Amazon EC2、Amazon RDS、ELB の3つです。また、作って終わりではなく、実際にEC2インスタンス1台を停止させ、その状態でもブログサイトにアクセスできることも確認します。前提となる必須知識はありませんので、スケーラブルな Web アーキテクチャについて学ぶ第一歩としてご活用ください。

アジェンダ

- 本コースで構築するアーキテクチャとハンズオン全体の流れの紹介
- Amazon VPCの作成 ～ WordPress用Webサーバ・データベースを配置するための仮想ネットワークを作成する ～
- Amazon EC2の作成 ～ WordPressがインストールされたWebサーバを作成する ～

<https://aws.amazon.com/jp/aws-jp-introduction/aws-jp-webinar-hands-on/>

3. 認定資格

AWS 認定とは

AWS 認定とは

AWS サービスに関する

知識とスキルを有していること

を証明するもの

取りたい IT 資格ランキング

AWS 認定の「取りたいIT資格：日経 XTECH」のランキング推移。(*3)

2018年 第 **1** 位

2019年 第 **1** 位

2020年 第 **1** 位

(*3) 日経 xTECH IT資格実態調査：2018 [URL](#) / 2019 [URL](#) / 2020 [URL](#)

AWS 認定を取得して良かったこと

「知識が身に付くと共に、すごく**自信**も付き、仕事でも大いに活かしています。周りからも**一目置かれるよう**になりました。」

「聞いたことがないサービスの概要を知ることができ、**幅広い提案**ができるようになりました。」

「**用語**に対して、少なくとも一度は聞いたことがある状態になるため、**情報のキャッチアップ**が早くなったと感じます。」

「いろいろなサービスにトライしたいという**積極的な姿勢**になりました。」

2019 年 4月 自社アンケートより

AWS 認定資格の種類

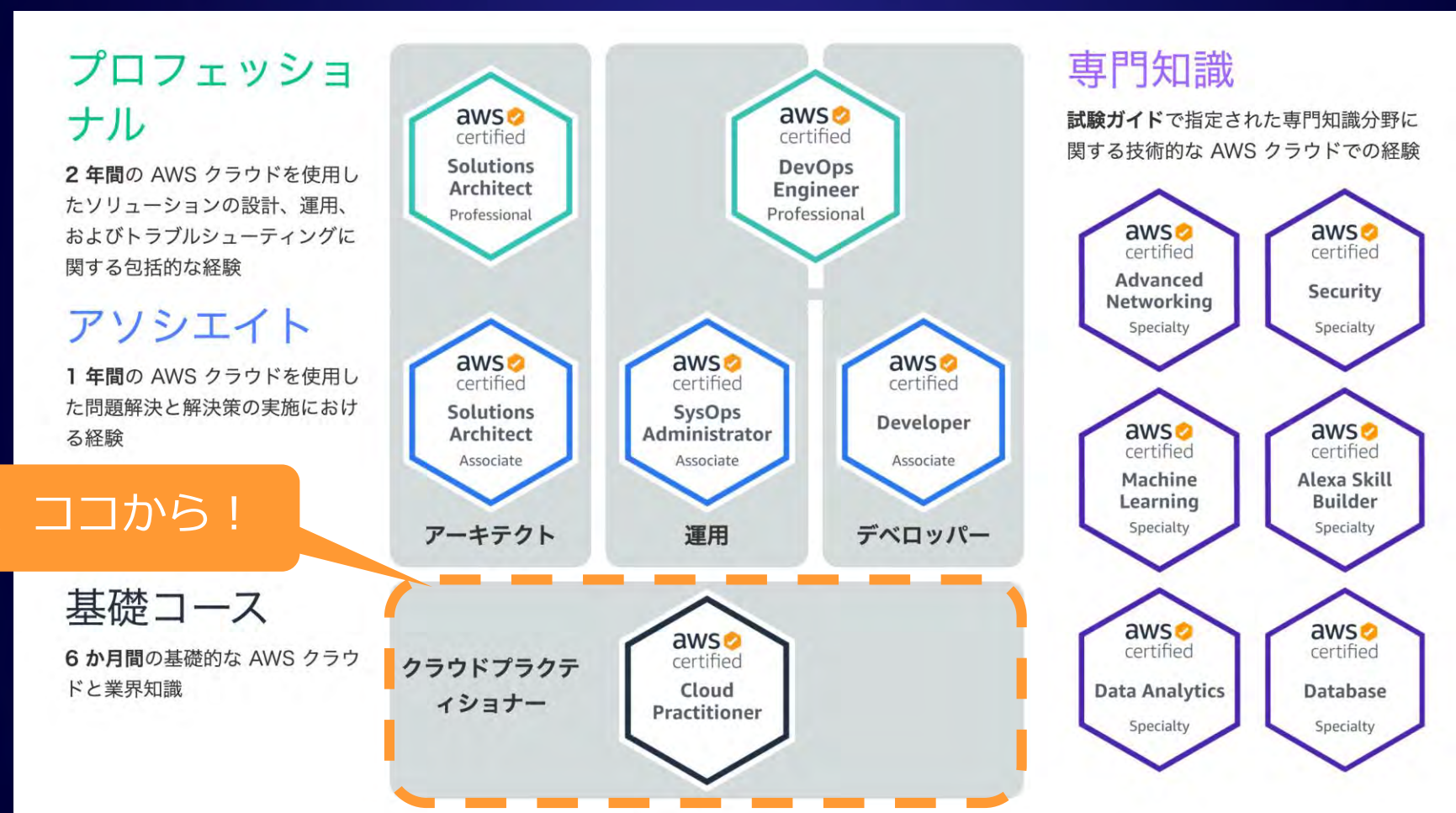
技術スキルとクラウドの専門知識を検証し、キャリアとビジネスを成長。



<https://aws.amazon.com/jp/training/course-descriptions/>

AWS 認定資格の種類

技術スキルとクラウドの専門知識を検証し、キャリアとビジネスを成長。



まずは、ココから!

<https://aws.amazon.com/jp/training/course-descriptions/>

クラウドプラクティショナー = 入門試験



技術者だけでなく、AWS に関わるすべての方の基礎知識です。

こんな悩みをお持ちの方へ

- お客様からの「AWS ってどうなの？」に答えたい
- 技術者との会話がかみ合わない
- どのように料金計算されているかが不安
- どのサポートメニューを選べばいいかわからない

<https://aws.amazon.com/jp/certification/certified-cloud-practitioner/?ch=cta&cta=header&p=2>

クラウドプラクティショナー 試験の出題分野



4つの分野から出題され、AWS の全般的な理解が問われます。

分野	試験に占める割合
分野 1 : クラウドの概念	26 %
分野 2 : セキュリティとコンプライアンス	25 %
分野 3 : テクノロジー	33 %
分野 4 : 請求と料金	16 %
合計	100 %

実際によく使われる機能や推奨される使い方が問われる傾向です。

認定試験の準備① 認定試験ウェビナー

1 下記URLへアクセスする

<https://aws.amazon.com/training/events/>

2. Series で

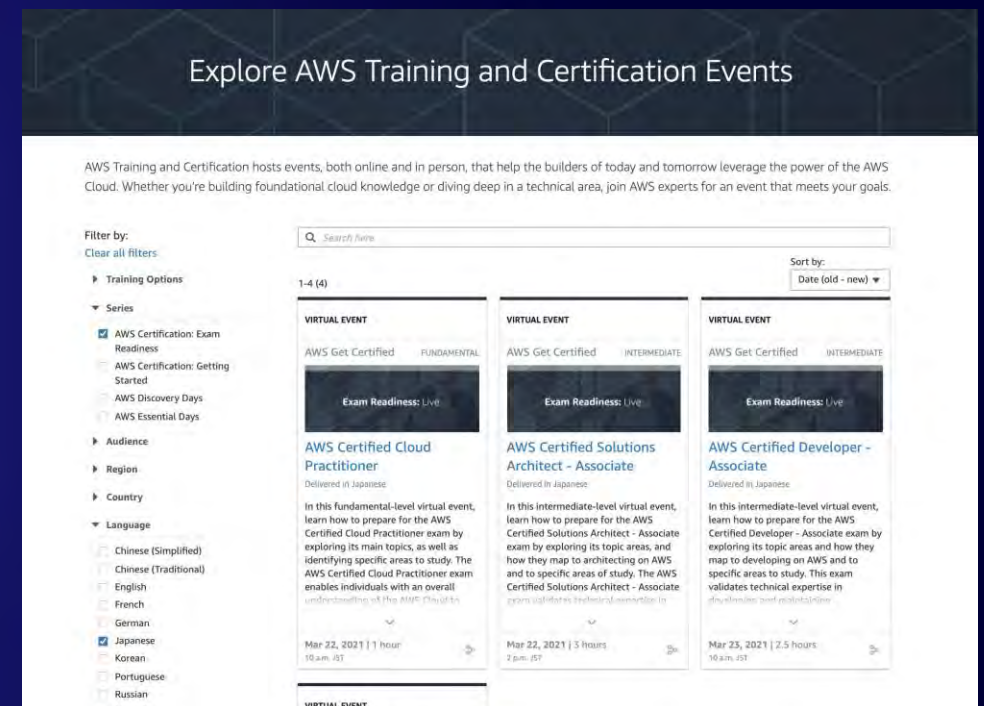
“AWS Certification : Exam Readiness” を選択

3. Language で

“Japanese” を選択

4. 参加希望のワークショップを選択

5. 申し込み



認定試験の準備② 無料デジタルトレーニング

無償デジタルトレーニングは、ご都合に合わせて何度でも受講可能です。
AWS認定試験の対策コースは "Exam Readiness" で検索！

The screenshot shows the AWS Training and Certification Learning Library interface. The top navigation bar includes the AWS logo, "training and certification", and links for "トレーニングライブラリ", "認定", "サポート", and "パートナー向けトレーニング". The language is set to "日本語" and the user is "サインイン".

The main content area displays search results for "デジタルトレーニング" (Digital Training). A sidebar on the left allows filtering by "ドメイン", "推奨", "経験のレベル", "職種", "言語", and "デジタル". The results are sorted by "並び替え: 最新の追加項目".

Five course cards are visible:

- AWS DataSync Primer**: Expert level, 1 hour. Description: "This course teaches you about the AWS DataSync service. You learn what the service is and how it works at a high-level. The benefits ..."
- Exam Readiness: AWS Certified SysOps Administrator - Associate**: Expert level, 90 minutes. Description: "AWS 공인 시스템 운영 관리자 - 어소시에이트 시험은 AWS 플랫폼에서의 배포, 관리, 보안 및 운영에 대한 기술 전문성을 검증합니다. 이 중급 과정에 참여하여 시험 ..."
- Getting Started with AWS Game Tech**: Beginner level, 90 minutes. Description: "This course introduces the AWS Game Tech portfolio of technical products and solutions, and their benefits to game developers. ..."
- Exam Readiness: AWS Certified Database - Specialty**: Expert level, 3 hours and 30 minutes. Description: "The AWS Certified Database - Specialty exam validates technical skills and experience in designing, deploying, and managing AWS ..."
- Solution Detail: Internet of Tracking (Indonesian (Bahasa))**: Beginner level, 10 minutes. Description: "Di kelas ini, Arsitek Solusi AWS Rudy Chetty membawa Anda ke Internet of Tracking: sebuah solusi pemantauan IoT tanpa server. ..."
- Solution Detail: Internet of Tracking (Vietnamese)**: Beginner level, 10 minutes. Description: "Trong khóa học này, Kiến trúc sư giải pháp của AWS Rudy Chetty sẽ giới thiệu chi tiết cho bạn về Internet of Tracking: một giải pháp theo dõi ..."
- Solution Detail: Internet of Tracking (Thai)**: Fundamental level, 10 minutes. Description: "ในหลักสูตรนี้ Rudy Chetty ซึ่งเป็น AWS Solutions Architect จะแนะนำให้คุณทราบถึง Internet of Tracking ซึ่งเป็นโซลูชันการตรวจสอบ IoT แบบไร้ ..."
- Introduction to Amazon Cognito (Indonesian (Bahasa))**: Beginner level, 10 minutes. Description: "Kelas ini memberikan pengantar untuk Amazon Cognito, yaitu layanan yang memungkinkan Anda menambahkan ..."

https://www.aws.training/LearningLibrary?&search=&tab=digital_courses

まとめ

まとめ

1. 学習の必要性

継続的に AWS のスキル・最新技術を身につけていきましょう。

2. 学習の方法

AWS の学習リソースを活用して、知識と実践を結びつけて理解しましょう。

3. 認定資格

認定資格を通じて、AWS の学習の成果を確認して知識の幅を広げましょう。

Thank you!

西村 航

テクニカルトレーナー / マネージャー
トレーニングサービス本部
アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社



AWS トレーニングと認定

AWS クラウドをキャリアに活用してください



デジタルトレーニング

クラウドのスキルを構築する無料のオンデマンドコースを探索する



クラスルーム トレーニング

エキスパートインストラクターによるトレーニングに参加する



AWS 認定の取得

業界で認められている認定を取得する



教育プログラム

AWS のスキルと経験を持つ人材に出会える



エンタープライズ リソース

学習ニーズ分析とAWSランプアップガイドを活用する

詳細はこちら <https://aws.amazon.com/jp/training/>